

広告



「塩屋埼灯台」の横には、灯台の歴史や仕組みがよく分かる資料展示室もある



地域活性化のために奔走する「夜明け市場」の松本文さん



石垣上から枝を垂らす「小川諏訪神社」のシダレザクラ。見頃は4月上旬～中旬



復興を見守るように静かにたたずむ国宝「白水阿弥陀堂」



約630本のソメイヨシノが咲き乱れる「馬陵公園」。見頃は4月上旬～中旬



「野馬追通り銘醸館」では、甲冑を身に付け街に出るという貴重な体験も



9回目となる「復興チャレンジグルメ」。季節ごとに、旬の食材を生かしたメニューを各店舗が独自に考案している



津波で被災した沿岸に立つ「かしまの一本松」とボランティアガイドの神田薫さん

**元気です
いわきを支える新旧名所**

いわき駅へは「上野東京ライン」の開業で、東京駅、品川駅からも直通で行けるようになりました。東京駅から特急「ひたち」号で2時間20分前後です。

いわき駅前の復興飲食店街「夜明け市場」は、被災した店が再起をかけて出店した2店舗からスタートしました。今では震災を機に独立した方なども集まり、レトロな飲食店街として人気を呼んでいます。「震災時は、東京で福島郷土料理店の出店準備中でした。その準備中の食材を持って炊き出しに来たことがきっかけで、故郷いわきを盛り上げる決心をしました」と仕掛け人で「夜明け市場」取締役の松本文さんは話します。

県内唯一の国宝建造物「白水阿弥陀堂」は、寺伝では奥州藤原4

代の基礎を築いた藤原清衡の娘、徳姫が亡夫の供養のために建立したとされています。平泉の「中尊寺金色堂」を範とした堂で、「浄土庭園」とともに平安末期の浄土思想をこの世に現しています。本尊の阿彌陀如来像が安置されている阿弥陀堂は、DC期間中の4月25日から5月24日までライトアップされ、幻想的な世界を醸し出します。

いわき復興のシンボル、塩屋埼灯台は昨年2月に完全復旧し、資料展示室も再開しました。「灯台のガラスがバリバリ割れ、どうなるかと思いました。航行する船の安全を最優先に、とりあえずLEDで光を出し、8カ月後の11月には灯台の点灯を再開しています」と震災時、一人で灯台の受付にいた燈台塩屋埼支所の小野芳征さんは。大津波を真上からつぶさに見た証言者でもあります。

福が満開、春のふくしまへ!



JR東日本では、4月1日から6月30日まで開催されるふくしまデスティネーションキャンペーンに合わせて、福島県の特産品である「桜」「歴史・文化」「自然」などをとおくにお楽しみいただけるプランをご用意しております。地域に根づく独特の歴史や文化を訪ね、咲き誇る満開の花々に目を楽しませる、福島県の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。詳しくは、JR東日本の主な駅の「びゅうプラザ」にあるパンフレット、またはホームページ (<http://www.eki-net.com/travel/>) をご覧ください。

各施設のお問い合わせ先

- 夜明け市場
いわき市平字白銀町2-10 TEL:0246-38-6586
- 白水阿弥陀堂
いわき市内郷白水町広畑221 TEL:0246-26-7008
- 塩屋埼灯台
いわき市平薄磯字宿崎34 TEL:0246-39-3924
(燈台会 塩屋埼支所)
- 小川諏訪神社
いわき市小川町高萩字家ノ前140-1 TEL:0246-83-0178
- かしまの一本松
南相馬市鹿島区南右田字谷地内
TEL:0244-26-3700 (南相馬市かしま観光協会)
TEL:0244-22-2114 (南相馬市観光ボランティアガイド 南相馬観光協会)
- 野馬追通り銘醸館
南相馬市原町区本町2-52 TEL:0244-26-8040
- 馬陵公園
相馬市中村字北町 TEL:0244-35-3300 (相馬市観光協会)
- お食事処 たこ八 (カネヨ水産)
相馬市尾浜字原228-25 TEL:0244-38-8808